

第6章

仮想オーディオについて

✓ この章は時間があるときに見てください

- マイクや動画、BGMなどをPC内（ソフトウェア）で仮想的にミキサーして、1デバイス化させる
- **ライブ配信PFであるYouTubeなどでは不要**

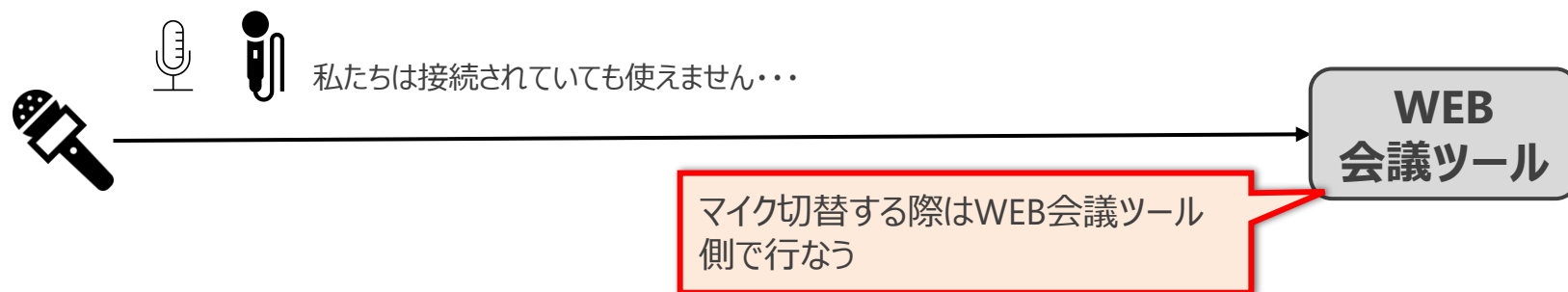
なぜ使用するのか？

- 会議ツール（Zoom、Teams、WebExなど）ではマイクは1デバイスしか使用できない
- 仮想オーディオにて1デバイスにすることで、複数のマイクやBGMを一緒に送ることができる

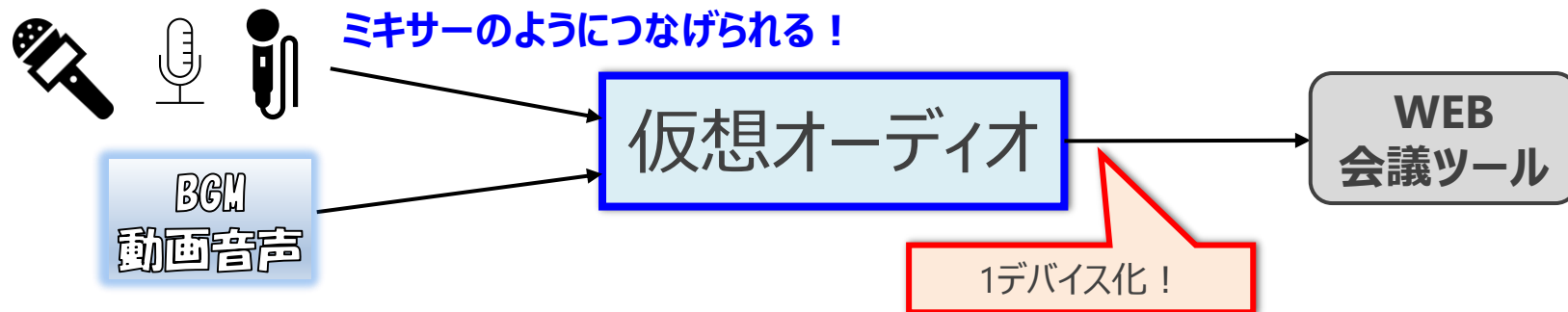
仮想オーディオを学ぼう

- 会議ツールでも講習会と同様な配信をすることができる

未使用



使用





▶ 画面共有で実施できる

- 画面共有をする際に「オーディオも送る」などの項目がある
(Teamsだと、「システムオーディオを含める」がある)
- コンピュータサウンドと会議ツールのスピーカーがイコールでないと出力されない場合もある
(会議ツール次第で変わる)
- 構造としては、スピーカーから流れているBGMをそのまま送り込んでいる

▶ OBSの仮想カメラの場合は仮想オーディオを使用

- マイクデバイスでしか送ることができないため、仮想オーディオを使うのがベスト

- 「VB-CABLE」を紹介する
- 無料でインストールでき、構造もシンプルで使いやすいのが特徴

➤ インストール

- <https://vb-audio.com/Cable/>
- インストールが完了すると、以下のデバイスがPCに追加される
 - 再生デバイス（スピーカー） : CABLE Input
 - 録音デバイス（マイク） : CABLE Output

VB-AUDIO Software
Audio Mechanic & Sound Breeder

Home Audio Apps Audio Pro Support Licensing WebShop

Virtual Audio Cable Voicemeeter Banana Potato VBAN Spectralissime

VB-CABLE Virtual Audio Device.
VB-CABLE is a virtual audio device working as virtual audio cable. All audio coming in the CABLE input is simply forwarded to the CABLE output.

Download and Install VB-CABLE Driver Now!

Download VBCABLE_Driver_Pack43.zip (1.09 MB - OCT 2015 / XP to WIN11 32/64 bits)
INSTALLATION: Extract all files and Run Setup Program in administrator mode. Reboot after installation.

Download VBCable_MACDriver_Pack108.zip (4.4 MB - MAY 2021 - Intel/M1)
INSTALLATION: Regular Package in DMG file for macOS 64bits version 10.10 to 12

VB-CABLE is a Donationware! All participations are welcome. Get your license for [VB-CABLE-Windows](#) or [VB-CABLE-MAC](#) directly on our [webshop](#). Change the quantity in the cart to get Volume Licensing prices.

If you find VB-CABLE useful!
Donate and get two other Virtual Audio Devices:
[VB-CABLE A+B](#) or [VB-CABLE C+D](#).

← 音量

- スピーカー (Realtek(R) Audio)
- DELL U2415 (HD Audio Driver for Display)
- BenQ G2420HD (2- HD Audio Driver for C Audio)
- CABLE Input (VB-Audio Virtual Cable)**

その他の音量設定

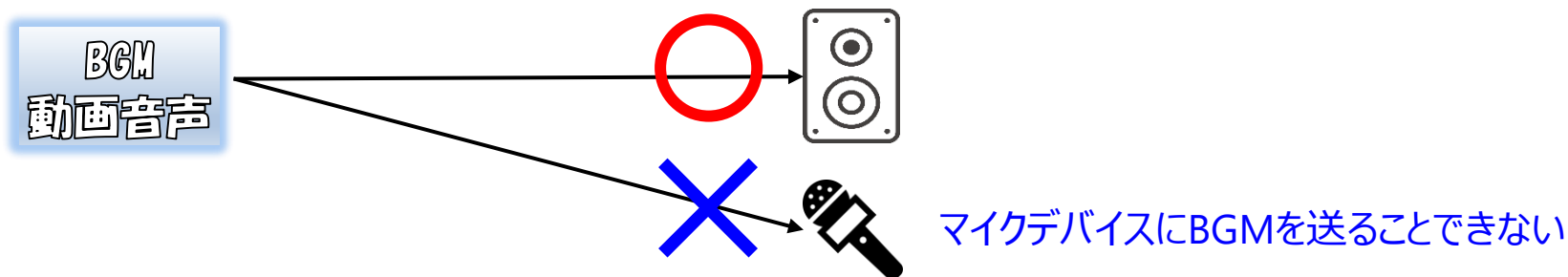
2022/

※引用 : VB-AUDIO Software (<https://vb-audio.com/Cable/index.htm>)

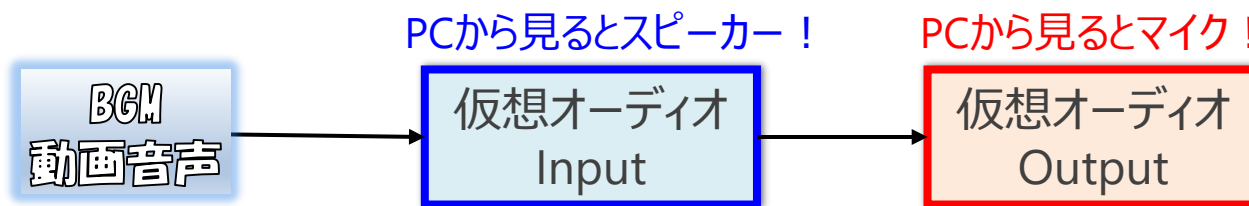
- 仮想オーディオは input（再生デバイス・スピーカー）と output（録音デバイス・マイク）がある
- 大体は、inputされたものが自動的にoutputされる仕組みとなっている

ポイント

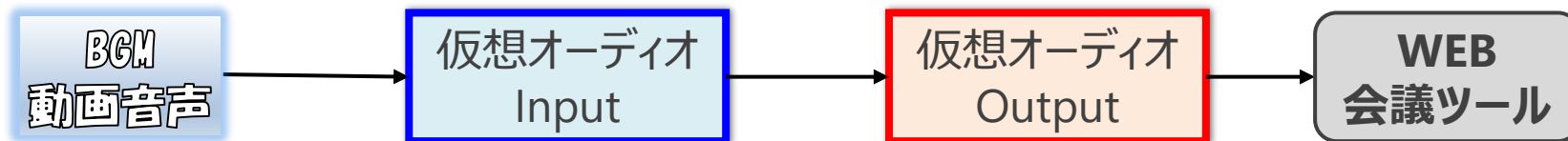
- 動画、BGMなどの音を出す場合には「スピーカー（再生デバイス）」にしか出せない



- 仮想オーディオの input = output では、以下のような構造になる



- 録音デバイス（マイク）にさせることで、会議ツールで相手に送ることができる

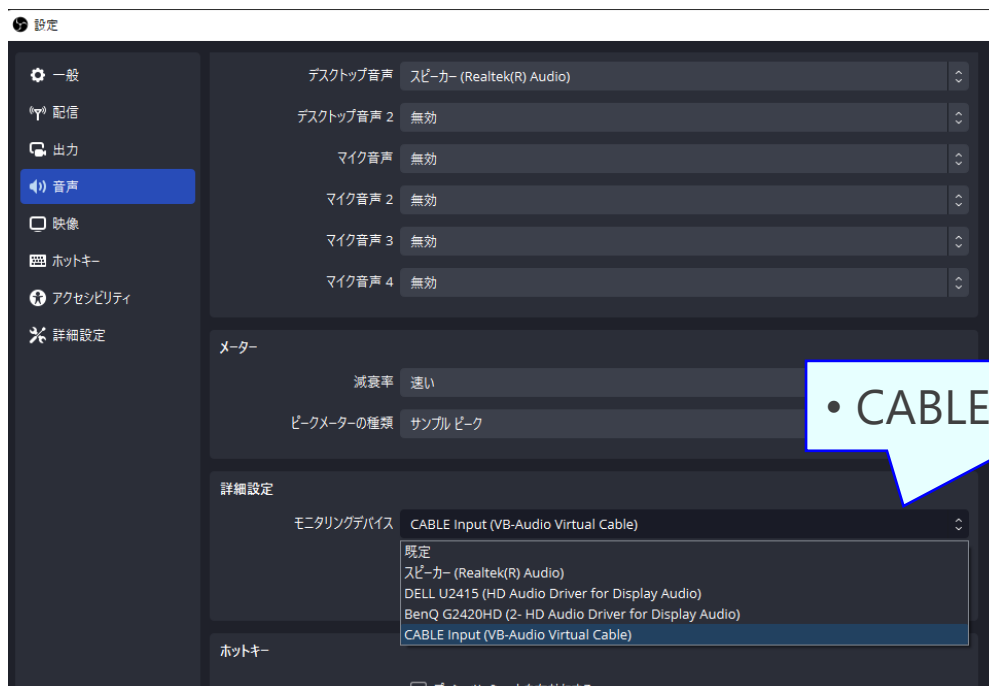


- OBSのモニタリング機能と仮想オーディオを用いて複数の音をミキサーできる
- 設定方法を下記に記述

➤ 考え方

- (次ページで設定するモニターしたいソースの出力先をどのデバイスにするのかを設定する)
- モニタリングデバイスをスピーカーなどから、仮想オーディオに変える
- 仮想オーディオにすることで、モニタリングするソースをマイクデバイス化させることができる

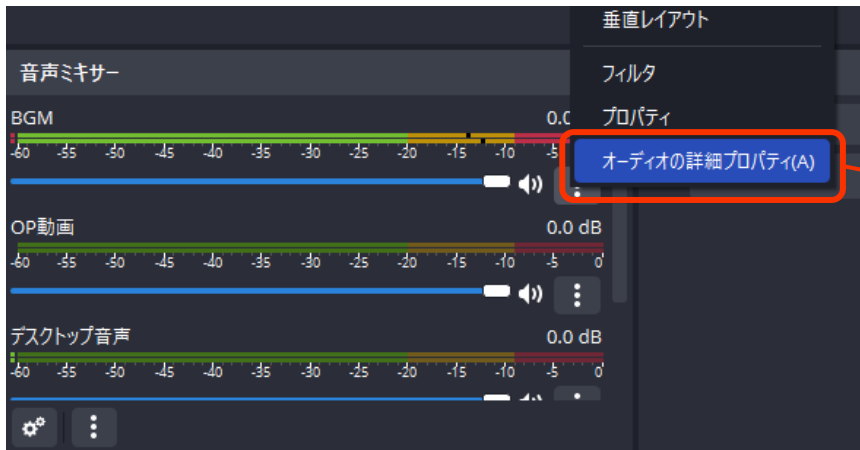
➤ OBSの設定方法



- 仮想オーディオに送るソースのモニタリング設定方法を記述
- BGMや動画だけではなくマイクも可能なため、マイク複数化なども可能となる

手順

- 音声ミキサーの音源「・・・ or 歯車マーク」から”オーディオの詳細プロパティ”
- 対象ソースの音声モニタリングを「モニターと出力」にする
 - モニターオフ : モニターオフ（配信や録画には音が出ている）
 - モニターのみ（出力はミュート） : 対象デバイスでモニターするのみ（配信や録画には音が出ない）
 - モニターと出力 : **モニターや配信、録画にも音が出ている**
 （配線や設定次第で音が二重になる場合もあり、注意が必要）



- 会議ツールのマイクデバイスを仮想オーディオに変更する
- 仮想オーディオを通じて、OBSと会議ツールをつなげることができる

ポイント

- 会議ツールでは音量やノイズ抑制など便利な機能が標準でついている
- ただ、その機能が障害になることもあるため、できるだけ「生音」に近い状態の設定に変更する
 - 音量調節などは配信ソフトウェアのOBS側に集約させる

手順

- 会議ツールのマイクデバイスを「CABLE Output」にする
- 以下の項目はBGMや動画の音を確認しながら実施してください
 - マイク感度を自動的に調整する をオフ（OBS側で音量調整など実施するため）
 - ノイズ抑制 をオフ（BGMなどの音がノイズ扱いされるのを防ぐ）
 - 高品質のミュージックモード をON（BGMなどが高音質になる）

仮想オーディオの説明は以上です

- ✓ 音は常に確認しながら調整や設定を選択するのが大切です
- ✓ 記述したものは初級編であり、概要を学んでいただけたらと思います（職場でのWEB会議にも活用していただけたら嬉しく思います）

